

速報 No.2 おこしやす

2015. 7. 29 (水)
現地実行委員会

開会行事

高木 尚 全訪研会長挨拶

近畿としてのブロック開催。これが今後の形になっていくのではないのでしょうか。近訪研の仲間のみなさまにお礼申し上げます。第7次の全国調査に基づく「提言案」の検討も合わせてお願いします。



渡辺 実 大会実行委員長挨拶

全訪研立ち上げから30年、このような大きな研究会となったことを嬉しく思います。命と対話する子どもたちの一日一日はどんなに大切なことでしょう。



来賓挨拶

京都府教育庁 立久井 聡 様

支援教育を取り巻く国の大きな動きがあります。全訪研のご発展に期待しています。

京都市教育委員会 中原 浩二 様

全訪研のたゆまぬ努力に敬意を表します。研究会が子どもたちの教育に資することとします。



来賓挨拶

親の会代表 福田 智佳子 様

以前、息子を連れて京都旅行に行きました。いろいろなトラブルの中で、多くの人々に支えられました。「幸せはその人の心の中にある」のです。この3日間の学びが有意義でありますように。

基調報告

基調報告 木下 博美 副会長

第7次全国調査結果等も含め、訪問教育を取り巻く現状について話します。さて、「訪問生に〇〇はない。」〇〇には、何が入るでしょう。修学旅行、宿泊学習、学校による医療的ケア、スクールバス乗車・・・など、地域によって様々です。



大会記念講演

青野 浩美さん (ソプラノ歌手)

「前例がなければつくればいい」
23歳で突然車いす生活、そして気管切開も。そんな辛い経験を関西弁で笑いも交えながら気さくにお話してくださいました。自身の障がいと向き合い、闘い続ける歌姫が、歌い、語り、会場を感動の渦に巻き込みました。



開催地からの報告

近畿2府4県で構成される「近訪研」から様々な取り組みや特色を発信しました。報告者それぞれの日頃の楽しく充実した教育活動事例や思いを熱く語りました。時間がとても足りなかったようです。

実行委員会からのお知らせ：3日目ワークショップF（スイッチの製作）の開始時刻が「9：00～」に変更されていますので、ご注意ください。